

経営比較分析表（平成30年度決算）

山口県 周南市

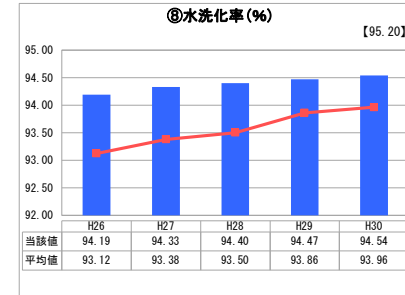
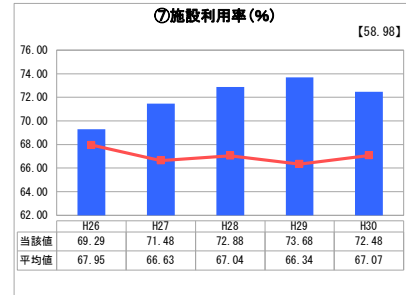
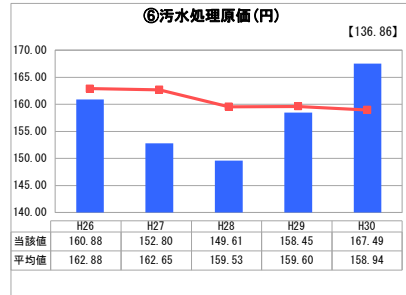
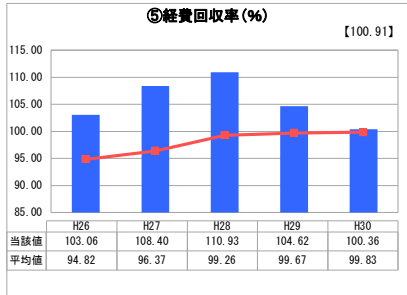
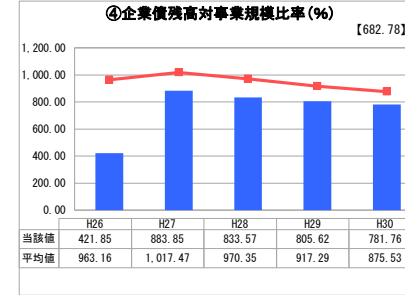
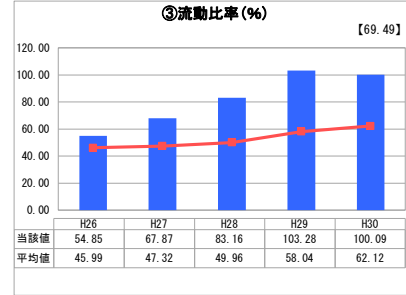
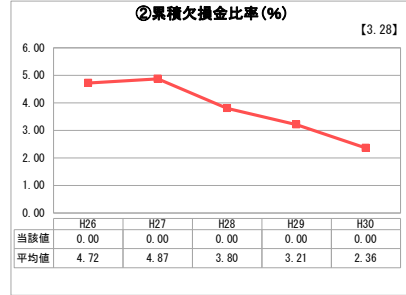
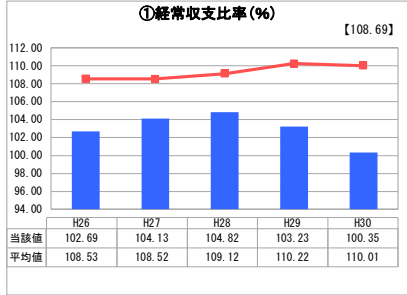
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.80	84.38	63.37	3,216

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
143,827	656.29	219.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
120,762	28.93	4,174.28

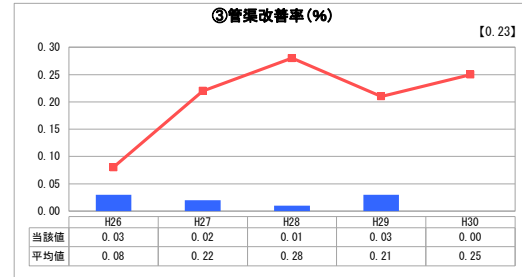
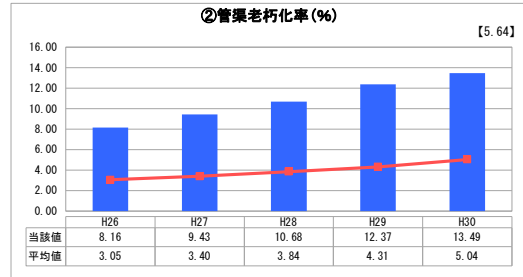
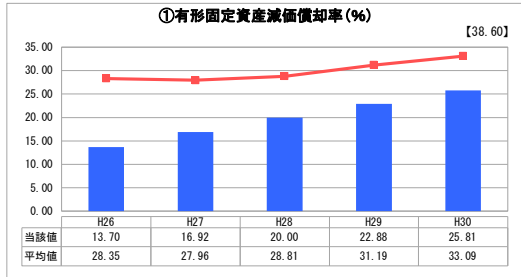
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、類似団体平均値と比較すると低いですが、100%を上回っており、100.35となった。累積欠損金は、発生していない。流動比率は、100%を上回っており、類似団体と比較しても高い。企業債残高対事業規模比率は、料金収入に対し、約8倍の企業債残高があるが、類似団体平均値と比較すると低くなっている。経費回収率は、100%を上回り、使用料で回収すべき経費は使用料で賄えている。汚水処理原価は、類似団体平均値と比較すると高く、167.49円となった。H30年度は29年度と比較して高くなっているが、これは資本費での分流式下水道等に要する経費としてみる部分の減少に伴い汚水処理費が増加したこと、有収水量が減少したことが影響している。施設利用率は、類似団体平均値と比較すると高く、72.48%となった。水洗化率は、類似団体平均値と同程度の数値である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比較すると低い。しかしながら、企業会計へ平成23年度に移行した際、減価償却が終わっていない部分のみを固定資産に計上したことによる影響であり、必ずしも類似団体に比較して施設の老朽化が進んでいないということではない。管渠老朽化率は、類似団体平均値と比較すると高い。本市では、昭和20年代から下水道事業に取り組んでおり、今後も法定耐用年数を経過した管渠延長が増加することとなる。管渠改善率は、類似団体平均値と比較すると低い。長寿命化の調査結果により管渠改善を行っており、マンホールふたの改修なども含め優先順位をつけて実施しているが、管渠の総延長も長いいため、改善率には反映されにくい。

全体総括

現状における経営状態については、経常収支比率は黒字で推移しており、流動比率等の指標についても類似団体と比較して良好な状況である。しかしながら、管渠老朽化率にも見られるように、施設の老朽化は進んでおり、ストックマネジメント計画に基づく、施設の長寿命化や耐震化を進める必要がある。また、企業債残高についても、発行額の抑制や改築施設の耐用年数に応じた適切な借入年数の設定などにより計画的に削減に努め、経営の安定化を図らなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。